

日高胆振知的障がい児・者家族会 通信

家族会ニュース



会長 津脇清一郎

日高・胆振知的障がい児・者家族会

会長 津脇清一郎

連日暑い日が続いておりますが、皆様におかれましては益々ご清祥の事とお喜び申し上げます。

また、日頃から、当家族会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

今年度も早四ヶ月が経過しました。過日の五月二十三日の日胆家族会総会におきましては、十三家族会二十二名の参加をいただき、前年度の事業報告と、今年度の運営について、意見を頂戴しながら審議を進め、「承認をいただいているところ」です。また、五月三十一日に北広島市で開催された道家族会総会には、全道より百二十名四十二家族会が参加、日胆地区より四家族会八名が

参加しました。

日胆家族会では機能強化として

三名の役員体制に改め、道家連との関係強化に努めております。六月の山口県下関市の虐待事件においては、連日テレビや新聞で報道され、多くの国民が心痛な思いをしたことと思えます。道家族会としても抗議文を提出しております。また、親

亡き後の問題「終の住処」の体制の保障などは継続して取り組んでいるところとす。総会前に行われた研修会では、「知的障がい者の終の住処と入所施設の役割」について、雪

の聖母園施設長の上坂隆一氏に講演をいただき、心温まるお話を聞かせていただきました。

今後関係機関と手を携えながら活動を充実して参りたいと考えます。皆様のこれまで以上のご理解とご支援をお願いいたします。

時事通信

道家連第二回研修会

『知的障がい者の意思決定支援について』

日時：平成二十七年九月十二日(土)

午後二時～四時

場所：札幌市 きたえーる

定員：約二百名

参加費：五百円

講師として、埼玉大学教育学部准教授の宗澤忠雄氏をお招きいたします。

「親、家族だからわかる知的障がい者との意思疎通、意思決定の難しさ。どこまで研究され、どう理解されていくのか? 言ったことそのまま、でない本人の意思を支援者にわかってもらうには?」をテーマに開催されます。多くのご参加をお待ちしています。

平成27年度 第1号 (通巻15号)
発行
日高・胆振知的障がい児・者家族会事務局
苫小牧市字植苗一二番地八
緑星の里やまぶき
印刷発行 2015年8月

日高・胆振知的障がい児・者家族会入会のご案内

随時会員募集中

北海道知的障がい者芸術祭

「みんなあーと十五年」として未来へ!

今年、北海道知的障がい福祉協会は創立五十周年を記念して、各部門に特別賞を用意しました。

九月三日～五日の期間で、札幌市かでの2・7を会場に、個性ある作品が展示されます。

社会福祉法人はるにれの会 ゆい・おがる開設十周年記念 東田直樹さん講演会

昨年NHK番組で話題となり、世界二十か国以上で翻訳されている「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」の著者、東田直樹さんの講演会が十一月一日かでの2・7で開催されます。

北海道乙部町に高齢者や障害者優先のバリアフリーホテルがオープン!

今年四月、社会福祉法人江差福祉会が就労継続支援A型事業所「バリアフリーホテルあすなろ」をオープンしました。

全二十九室最大七十名が宿泊でき、部屋、温泉浴室、共有部分を全てバリアフリーに徹底改装しています。部屋は全室自動ドア、電動ベッド、お風呂も車椅子で入浴できます。

編集後記

連日各地で、猛暑のニュースが聞かれています。加えて湿度も高く、熱中症対策を万全に、この夏を乗り切ります。

